

登録コード	E2121900	開講年度	2026			
授業科目	外国史				担当教員	野口 舞子
英文授業名	Foreign History				副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・2時限	対象学生
講義室	教育M306	授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー 該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				中東・西アジアを中心とした地域の歴史と社会を成立から近現代まで学ぶことで、現代の国際関係や諸問題を理解し、身の周りの事象を多角的に見る目を養う（達成目標）。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				・歴史教育を行う上で重要な歴史事象や宗教的な事柄について説明でき、授業を構想できるようになる（達成目標）。 ・修得した知識や考察を、文章として適切に表現できるようになる（達成目標）。	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	本授業は、中東・西アジア地域における歴史的事象と、イスラームに係わる教えや慣習について理解することで、外国史への理解を深めながら、中東・イスラームに関する基本的な知識を身につけることを目指す。授業は講義と模擬授業および授業構想を組み合わせよう。					
(5)授業計画	第1回：オリエンテーション 第2回：イスラームの成立 第3回：イスラームの基本的な教えとムスリムの生活 第4回：カリフの時代 第5回：アッバース朝 第6回：軍人政権の時代 第7回：西方イスラーム世界 アンダルス 第8回：西方イスラーム世界 マグリブ 第9回：イスラーム世界の拡大と交流 第10回：イスラームにおける知識人と文化 第11回：オスマン帝国 第12回：イスラームの近代 第13回：植民地化とパレスチナ問題 第14回：総括と授業アンケート 教育実習による欠席分の補講は、課題の提出・添削等で対応する。					
(6)成績評価の方法	・授業の達成目標 の到達度を測る授業への取り組み・事後課題の提出 30点 ・授業の達成目標 の到達度を測る模擬授業および授業構想 40点 ・授業の達成目標 の到達度を測るレポート 30点 ・得点率による評価基準は次の通りとする。 90%以上 秀、89-80% 優、79-70% 良、69-60% 可、59%以下 不可					
(7)成績評価の基準	(i) 問題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。 (i) から(v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。					
(8)事前事後学習の内容	・事前／事後：提示した参考文献を読み、課題への理解を深める。 この授業は90時間の学修を必要とする内容である。従って、60時間以上の時間外学習が必要となる。					
(9)履修上の注意	・不明点は質問するなど、意欲的に授業に参加することが望まれる。 ・資料の配布、授業内・事後課題提出、レポート提出等で適宜eALPSを利用する。					
(10)質問、相談への対応及び連絡先	・オフィスアワー：M315研究室、平日在室時は随時。 ・連絡先：noguchi_maiko@shinshu-u.ac.jp					
【教科書】	・原則として使用しない。必要に応じて資料を配布する。					
【参考文献】	・講義の中で適宜指示する。					